

(岡谷市立長地小学校)「おさっちあ」

事業実施状況



担当課・係	岡谷教育委員会 生涯学習課社会教育担当	
主な活動場所	岡谷市立長地小学校	
	エアコンの設置(有(無))	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	水曜日(月1回程度) 放課後午後3時30分～5時
	土日	-
	長期休業	-
帰宅方法	保護者のお迎え	
負担金	なし	
登録者数	216人(1回あたり平均186人参加)	

【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	2	協働活動支援員	-
協働活動サポーター	-	特別支援サポーター	-
ボランティア	50	(登録者数。1回あたり平均 20人配置)	

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	○	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	-		学習支援	-
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	-
	プログラム型	-		他団体、組織	○

活動内容

- 登録制(年度当初に募集、随時登録可能)
- 地元地区の協力により、年間を通して地域住民がボランティアスタッフとして運営に協力
- 子どもの自主性を尊重し、毎回異なるさまざまなプログラムの中から児童が活動内容を選択
- 地域住民との世代間交流や異年齢の子ども同士の交流を重視
- 主なプログラム
 - ・体育館での自由遊び…ボール、縄跳び等
 - ・工作…ぶんぶんこま、糸電話、折り紙、毛糸、凧、ブーメラン、バルーンアート、紙飛行機、リース等
 - ・昔ながらの遊び…凧あげ、羽根つき、けん玉
 - ・交流…岡谷東部中学校合唱部、岡谷南高校英語部、岡谷南高校理科部
 - ・その他…調理実習、人権教育、マジック、読み聞かせ、宿題

気づいたことや成果

- 設立以来、毎回、児童に遊びたい内容を選択させるスタイルを取ることにより、スタッフが用意した素材を利用して、子どもが自分で遊び方を見つけて自主的に楽しむ姿が特長となっている。
- 地元地区の協力により、多くの地域住民が楽しみながら運営に参画しており、岡谷市が推進する「地域住民による子育て」が実現している。

課題や反省点

- 活動内容の選択や会場間の移動などについて自由度が高く、開放的な雰囲気運営されている反面、登録児童の多さもあいまって、集合時など児童を統率する際に、スタッフが苦慮する場面が見られる。
- 登録児童が増加傾向にあるため、児童の安全管理には細心の注意を払っている。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

- ◇いろいろな教室があって、いろんな人といっぱい遊べて楽しかった。
- ◇おさっちあに参加して、友達が増えてうれしかった。
- ◇おさっちあで宿題もがんばれてよかった。
- ◇来年もおさっちあに入りたい。

〈保護者の声〉

- ◇毎回、おさっちあで体験したことやお友達の様子を話してくれてうれしい。
- ◇本人にとって、おさっちあでの経験がとても自信になっているように感じる。
- ◇おさっちあに参加するようになって、年下の子に対する優しい気持ちが見られるようになった。

下諏訪町立下諏訪南小学校子ども教室

事業実施状況

担当課・係	下諏訪町教育委員会 教育こども課子育て支援係	
主な活動場所	下諏訪南小学校体育館	
	エアコンの設置(有・無)	
対象児童	小学校1年生～6年生	
実施日等	平日	毎週水曜日下校時～17時
	土日	なし
	長期休業	なし
帰宅方法	お迎えもしくは集団下校	
負担金	なし	
登録者数	332人(一日平均152人参加)	



【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	1
協働活動サポーター	10	特別支援サポーター	0
ボランティア	2		

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	○	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	—		学習支援	—
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	—
	プログラム型	—		他団体、組織	—

活動内容

- 毎週水曜日に、いつもの学校の体育館が、放課後子ども教室に変身します。
- 体育館ロビーには自主学习用のテーブル、スタッフお手製の万力付き工作机が配置され、のこぎり、とんかち、グルーガンなどで自由に木工作業を楽しめます。
平成29年からは手芸コーナーも設けています。
- バドミントンや、けん玉、大道芸の先生も参加し、ジャグリングなどは本格的な道具で体験しています。
- 特徴としては、開かれた多彩な遊びの場に、飛び込みやすいようにスタッフが声掛けを行う点が挙げられます。1回参加しただけでは全てを体験できない教室に、繰り返し毎週参加する中で、自分の世界を作って、楽しんでいます。

気づいたことや成果

- けん玉や、一輪車、手芸など、昔の遊びは大人が考えるよりも人気があるものの、指導者に恵まれないと楽しむこと自体が、難しいようです。当町では、指導資格を持つスタッフが在籍しており、遊びやすくなっています。
- 木工作業などは遊び「慣れ」たお子さんが多く、材料を渡せば、もくもくと設計図無しに自由に好きなものを作り出します。
- 町中でスタッフとすれ違くと、「水曜日の〇〇さんこんにちは」とお子さんが自発的に声をかけてくれるようになりました。

課題や反省点

- ・ 10年前の立ち上げから、年数が経過していることもあり、指導者の中には体力の限界を感じていらっしゃる方も多いようです。
- ・ 教室からの情報発信の方法が難しい点もあります。
ルール確認の通知などは行っても、なかなか、周知が進みません。お迎えの際にお話し等を進めて、トラブルは減りましたが、これからの課題と考えます。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

- ◇ 工作が楽しく、運動はバドミントンの先生(スタッフ)がいて、すぐ時間が終わってしまうのが悲しい。
- ◇ けん玉がとても好きになれた。毎週教えてもらっている。

〈保護者の声〉

- ◇ 学校懇談会や家庭訪問の日などに実施があるので、遊ぶ場所に困っていたが、放課後子ども教室があるので助かっている。
- ◇ お迎えに行ってもなかなか帰ろうとしないところを見ると、楽しいことがよくわかる。

(原村立原小学校)「原っ子広場」

事業実施状況

担当課・係	原村教育委員会 教育課生涯学習係	
主な活動場所	原小学校校庭や公民館など	
	エアコンの設置(有(無))	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	毎週月～金曜日の登校日 下校時～午後5時
	土日	無
	長期休業	無
帰宅方法	徒歩、迎え	
負担金	保険料800円	
登録者数	230人(一日平均70人参加)	



【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	
協働活動サポーター	5	特別支援サポーター	
ボランティア	2		

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	○	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援			学習支援	
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	
	プログラム型			他団体、組織	

活動内容

- 中央公民館を拠点として、隣の社会体育館・小学校校庭を利用し、月曜日から金曜日までの下校から午後5時まで開設している。
- 宿題は拠点場所の空き部屋で行っている。
- 室内では、囲碁・将棋・トランプ・チェス・ウノ・工作・読書などの活動
- 小学校校庭や社会体育館では、サッカー・ドッジボール・野球・縄跳び・フラフープ・鬼ごっこなどのスポーツ活動を自主的に行っている。
- 図書館で行われているお話会に参加(希望者)

気づいたことや成果

- 日が経つにつれ、学年を越えた交流ができて、子どもたちの成長がみられる。
- 学校と違い、自由にのびのびと遊んでいて楽しそう。

課題や反省点

- ・利用者が年々増加して、活動場所が手狭になってきている。また、限られた職員では、全ての子に目が行き届かない場合がある。
- ・勝手に活動しているなど、ルールを守らないでトラブルとなることもある。
- ・地域の人に協力してもらい、活動体験の機会を設けていきたい。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

- ◇行くのがとても楽しみ。
- ◇体育館や校庭で思いっきり遊べてうれしい。

〈保護者の声〉

- ◇先生がしっかり見守ってくれているので、安心して利用できる。
- ◇学年をこえて友達ができてよい。

(伊那市立西春近北小学校)「にしはる学習タイム」

事業実施状況

担当課・係	伊那市教育委員会 学校教育課教育総務係	
主な活動場所	学校	
	エアコンの設置(有(無))	
対象児童	小学校 5年 6年	
実施日等	平日	毎週水曜日 放課後午後3時40分～4時40分
	土日	なし
	長期休業	なし
帰宅方法	家人の迎え	
負担金	なし	
登録者数	11人(5年3名 6年8名)	



【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)		協働活動支援員	
協働活動サポーター		特別支援サポーター	
ボランティア	4		

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	—	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	—		学習支援	○
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	—
	プログラム型	—		他団体、組織	—

活動内容

- 参加児童一人ひとりが、国語と算数において、「漢字が苦手なので1年生の漢字から練習し直したい」「計算ミスが多いので、この時間を使ってたくさん問題に取り組みたい」など、自分が取り組みたい課題について学級担任と相談して決定する。
- 「ドリル問題の反復」「文章題プリント」「漢字プリント」など、子ども一人ひとりの課題に見合った学習内容を学級担任と決めだす。学級担任は、「にしはる学習タイム」実施日には一人ひとりの課題に即した課題(ドリルやプリント)を用意する。
- 放課後学習支援の時間には、4名の支援員さんが一人ひとりに対して個別指導を行う。
- 学習時間は1時間。全員であいさつをして、帰宅。帰宅方法は下校時刻後のため家人のお迎えになっている。

気づいたことや成果

- 子どもたち一人ひとりがどのような点に苦手意識や課題意識を持っているのかを担任はつかみやすく、実態に即した学習材を用意することで、児童の課題克服の一助となっている。
- 11名の児童に対して4名の支援員さんの指導が受けられるので具体的でわかりやすく、児童も熱心に学習する姿が見られるようになった。

課題や反省点

- ・実施日が水曜日で、職員会議があることが多く、短い時間で担任と支援員さんとの間で打ち合わせができていく。
- ・児童の課題設定をきめ細やかに行うことができず、一度決めた課題のままになってしまうこともあり、学習材もワンパターンになり、学習意欲がそがれてしまう。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

- ◇わからない問題があっても、一対一でやさしくていねいに教えてくださり、自分から「もっと問題に挑戦しよう」という気持ちになった。
- ◇静かな場所でじっくり学習に向かうことができた。支援員の先生方の教え方もわかりやすくて、学習が楽しかった。

〈保護者の声〉

- ◇放課後の時間をたとえ1時間でも有効に使えることから、今後も積極的に利用させたいと思う。
- ◇地域の方が地域の子どもの学習を教えてくださいと感謝したい。子どもも学習が楽しいと言っている。

(駒ヶ根市立赤穂東小学校)「すずらん寺子屋塾」

事業実施状況

担当課・係	駒ヶ根市教育委員会 子ども課学校教育係	
主な活動場所	赤穂東小学校	
	エアコンの設置(有(無))	
対象児童	小学校4～6年生	
実施日等	平日	毎週水曜日 午後3:45～4:15
	土日	なし
	長期休業	夏休み4日間
帰宅方法	徒 歩	
負担金	な し	
登録者数	約60人	



【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	協働活動支援員	4
協働活動サポーター	特別支援サポーター	
ボランティア		

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	—	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	—		学習支援	○
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	—
	プログラム型	—		他団体、組織	—

活動内容

- 毎週水曜日(学校行事のない時)、4～6年生の希望者が放課後30分支援員の方に見てもらって学習する。
- 4・5・6年と教室を分かれ、それぞれ違う支援員さんがついて、分からないところを教えてもらったり、質問をしたりして学習を進める。
- 学習の内容は各自で決める。(学校で用意しない。)宿題や、その日の授業で分からないところなどに取り組む児童が多い。
- 夏休みは4日間で、それぞれ1時間。

気づいたことや成果

- 週に一度だけだが、放課後の時間を有効に活用できている。
- 職員会議の日なので、支援員さんに支援に入ってもらえることで実施が可能である。(水曜日以外は下校時刻が遅いため実施できない。)

課題や反省点

- ・担任からみて、この子は放課後学習をしてほしいという児童には勧めているが、本人(保護者)が希望しないことには参加してもらうことができない。
- ・分からないところをもっと積極的に質問等できるとよいと思うが、放課後学習の時間は職員がついていられるわけではないので、支援員さんにお任せ状態である。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

- ◇学校で宿題をやって行かれるので、嬉しい。家での時間がたくさん使える。
- ◇家でやるより、夏休み帳をどんどん進めることができ、とても嬉しい。

〈保護者の声〉

- ◇学校で宿題をやってくれるので、とてもありがたい。
- ◇夏休みの課題をやれるので、とてもいい。

(飯島町立七久保小学校)「七久保子ども広場」

事業実施状況



担当課・係	飯島町教育委員会	
主な活動場所	七久保小学校体育館	
	エアコンの設置(有・無)	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	毎週水曜日 放課後午後3～5時
	土日	無
	長期休業	夏休み15日間
帰宅方法	一般児童と同じ	
負担金	なし	
登録者数	45人(平均20人)	

【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	0
協働活動サポーター	9	特別支援サポーター	0
ボランティア	0		

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	○	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	—		学習支援	—
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	—
	プログラム型	—		他団体、組織	—

活動内容

- 毎週水曜日放課後活動しております。
- 七久保小学校学童クラブと合同で体育館遊び等を行っております。
- 学校から帰ってくるとまず宿題をします。
- 体育館で卓球、キックベース、バドミントンなどを行っております。
- 絵を描いたり、将棋等やっています。
- 夏休みは午前中に行い、宿題や遊び等をやっています。

気づいたことや成果

- 小学校児童の多くが参加しております。
- 地域の大人がサポーターとして参加しております
- 学年の違う友達ができています。

課題や反省点

- サポーターの不足
- サポーター高齢化

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

- ◇学校の友達と遊べるので楽しい
- ◇卓球の相手をしてくれてうれしい

〈保護者の声〉

- ◇宿題をやってくれてるのでありがたい
- ◇無料でうれしい

(中川村立中川東・西小学校)「中川放課後子ども教室」

事業実施状況

担当課・係	中川村教育委員会 社会教育係	
主な活動場所	大草城址公園管理棟	
	エアコンの設置(有(無))	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	毎週水曜日 放課後午後3時30分～5時
	土日	土曜日(月2.3回)希望者のみ 午前10時～午後3時
	長期休業	夏休み(26日)、春休み(18日)
帰宅方法	保護者の迎え	
負担金	保険料800円	
登録者数	49人(一日平均45人参加)	



【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	1
協働活動サポーター	7	特別支援サポーター	
ボランティア			

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	-	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	-		学習支援	-
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	-
	プログラム型	-		他団体、組織	-

活動内容

- 体を動かす(自由遊び・鬼ごっこ・縄跳び・ドッジボール・自然体験活動等)
- ものをつくる(木工工作・ネイチャークラフト等)
- 伝統的な遊びを楽しむ(こま・お手玉・折り紙・だるまさんがころんだ等)
- 季節の行事にふれる(お正月・クリスマス等年中行事に関すること)
- 宿泊体験(放課後子ども教室通学合宿)

気づいたことや成果

- 子どもたちの中で自分の役割分担が身についており、それぞれ自覚を持ちながら活動することができている。高学年が指示を出したり、下級生は高学年を見本にしたりしながら行動している。
- 2校の交流が盛んになり、今後中学で一緒になるに当たり良い機会になっている。
- 公園のゴミ拾いなど自ら進んでできることが増えた。

課題や反省点

- ・児童の増加によるサポーターの不足
- ・スクールバスを利用している西小の児童が今後増えた場合の送迎方法
- ・6年生になってからのリーダー役を不安に思っている5年生もいる。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

- ◇いつもの遊びもメンバーが変わると楽しい。
- ◇たくさん友達と遊べて楽しい。

〈保護者の声〉

- ◇東小と西小の子どもたちが交流して仲間が増えてほしい。
- ◇子どもが毎週楽しみにしている。
- ◇通学合宿後は、子どもが家の手伝いをしてくれるようになった。

宮田村立宮田小学校・中学校「宮田うめっこ塾」

事業実施状況

担当課・係	宮田村教育委員会 学校教育係	
主な活動場所	宮田村民会館	
	エアコンの設置(有)・無)	
対象児童	小学校5～6年生 中学校1～3年生	
実施日等	平日	小学生対象 基礎からの英語 毎週火曜日 基礎からの算数 毎週金曜日 放課後16:30～17:30
	平日	中学生対象 基礎からの数学 毎週水曜日 放課後15:40～16:40
	長期休業	長期休業関係なく毎週実施
帰宅方法	小学生は保護者のお迎え必須 中学生は徒歩で帰宅	
負担金	保険料(保険への加入)	
登録者数	平均7人	



【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	2
協働活動サポーター		特別支援サポーター	
ボランティア			

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	○	学習活動の特徴	自主学習	—
	学校支援	—		学習支援	○
体験活動等の特徴	自由活動型	—	その他の連携	保護者	—
	プログラム型	—		他団体、組織	—

活動内容

○小学校5～6年生対象の「基礎からの英語教室」「基礎からの算数教室」と中学生1～3年生対象の「基礎からの数学教室」の3講座を週1回行っています。小学校、中学校で使用している教科書を基本に学習をします。基礎学習が目的になっています。

小学生5～6年生対象

基礎からの英語教室 毎週火曜日 16:30～17:30

基礎からの算数教室 毎週金曜日 16:30～17:30

中学生1～3年生対象

基礎からの数学教室 毎週水曜日 15:40～16:40

気づいたことや成果

○週1回行っているのので、年間継続してどれだけの児童生徒が参加してもらえるか心配があったが、ほとんど欠席がなく児童生徒楽しみに来てもらっている。
○小中学校で使用している教科書を使って授業をしているので、学校の授業と並行して学べていけることで、予習復習学習ができる。

課題や反省点

○学校行事と重なり、時間通りに開始できない日がある。放課後ということで、年間で週1回の計画が立てにくい面もある。
○だいたい決まった児童が参加している。放課後、このような教室があることを知らない児童生徒、保護者が多いので、周知に力をいれたい。通知を配布しただけで終わらず、学校の先生たちへ協力をお願いし連携をとっていきたい。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

◇授業の問題がスラスラできるようになった。難しく解けなかった事も分かるようになった。応用の考え方が分かるようになった。忘れていた公式を思い出せることができた。

◇復習予習がしっかりできる。早く終われば友達と宿題をやったり楽しかった。

〈保護者の声〉

◇勉強をする空間を作って頂きありがたい。放課後の時間を有意義に使えている。

◇苦手だった教科が好きになっと子どもから聞けた。

(飯田市立丸山小学校)「青空スクール」

事業実施状況

担当課・係	飯田市教育委員会 ・学校教育課保健給食係 ・丸山公民館、羽場公民館、東野公民館	
主な活動場所	丸山小学校や公民館など	
	エアコンの設置(有(無))	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	第1・2・3・4水曜日 15:20～16:30
	土日	学期1回土または日曜日 9:00～11:30
	長期休業	
帰宅方法	集団下校	
負担金	年間1,200円	
登録者数	78人(一日平均65人参加)	



【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	3	協働活動支援員	
協働活動サポーター	34	特別支援サポーター	
ボランティア			

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	学習活動の特徴	自主学習	
	学校支援		学習支援	
体験活動等の特徴	自由活動型	その他の連携	保護者	○
	プログラム型		他団体、組織	

活動内容

第1・2・3・4水曜日と学期第1回土または日曜日にスポーツと体験活動のメニューを計画し、グラウンド、小学校体育館・ミーティングルーム等を利用して実施している。

1日の活動の流れ

■水曜日

- ・15:20 児童集合
- ・15:20～15:25 はじめの会
- ・15:30～16:20 活動(ドッジボール、バドミントン、ミニサッカー、絵はがき等)
- ・16:20～16:30 終わりの会

■土・日曜日

- ・9:00～9:15 はじめの会
- ・9:15～11:20 活動(交流会等)
- ・11:20～11:30 終わりの会
- ・11:35～12:00 保護者懇談会

気づいたことや成果

- ・活動を通して児童の成長を感じることができ、高学年が低学年をリードするなどの様子が見られた。
- ・学期末の交流会では保護者が大勢参加してくれた。
- ・大なわとび記録会へ出場した。その際、家族の協力と応援が大きく励みとなった。
- ・学校の協力が得られている。

課題や反省点

- ・保護者のスタッフとしての参加がない。

子ども・保護者の声

<参加児童から>

- ・みんなと一緒に活動できて楽しかった。
- ・学年のちがう友達がたくさんできてうれしかった。
- ・バドミントンが上手になれてよかったです。

<保護者から>

- ・子どもの時期に覚えるべきことが覚えられ、友達もできてうれしいです。
- ・地域の皆さんに見守られて、ありがたいです。
- ・活動から帰ってくるなり楽しかった報告をしてくれるのが私の楽しみにもなっています。

(松川町立松川北小学校)
「松川北小学校放課後子ども教室」

事業実施状況

担当課・係	松川町教育委員会 こども課学校教育係	
主な活動場所	松川北小学校	
	エアコンの設置(有)無)	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	毎週火・木曜日 放課後～下校時刻 (高学年は月1回程度 水曜日)
	土日	なし
	長期休業	なし
帰宅方法	一般児童と同じ	
負担金	なし	
登録者数	82人(一日平均40人参加)	



タブレット体験教室の様子

【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)(2校兼務)	1	協働活動支援員	1
協働活動サポーター	5	特別支援サポーター	0
ボランティア	0		

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	○	学習活動の特徴	自主学習	○
	学校支援	—		学習支援	—
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	—
	プログラム型	○		他団体、組織	—

活動内容

- 低学年は週2回、高学年は月1回程度実施している。
- 年に数回児童クラブと合同でのイベントも実施。
- 主な活動内容
 - ・友達と好きな遊びを楽しむ。
(サッカー、バスケット、縄跳び、鬼ごっこ、折紙、色水遊び、自然に触れた遊び)
 - ・体験教室を通して地域の方々と関わる。(音楽演奏、腹話術など特技を持った方に来ていただく)
 - ・季節の行事を楽しむ。(ハロウィン、クリスマス会、お別れ会、子ども屋台)
 - ・製作遊び。(毛糸を使った製作、紙粘土、絵の具で絵画、クリスマス飾り等)
 - ・児童クラブとの合同イベント。(タブレット体験教室、クリスマス会)
 - ・学校の宿題。(分からないところをサポートに教えてもらう)

気づいたことや成果

- 放課後の開放された時間帯にのびのびと活動でき、子どもたちにとって楽しい居場所となっている。
- 遊びを通して学年を超えて楽しむことができる。
- 子どもたちの育ちを様々な方面の大人で見守ることができている。

課題や反省点

- ・活動時間が短いため、講師をお願いしにくく地域との交流の機会を多く作ることが難しい。
- ・学校内の教室を使って実施しているので、学校との連携、連絡は不可欠だが、学校と信頼関係を築く時間が多く取れないことが課題。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

- ◇友だちと一緒にいっぱい遊べて楽しかった。
- ◇子ども教室の日が毎回楽しみ。
- ◇子ども教室で思い切り遊べて楽しい。サポーターの先生と色々なスポーツができるのも楽しい。

〈保護者の声〉

- ◇子どもは毎回楽しみにしている。友達と色々な遊び、特に自然に触れた遊びもできてありがたい。
- ◇体験教室でめずらしい事も体験させてもらえてありがたい。

(高森町立高森南小学校)「南小ふれあいクラブ」

事業実施状況

担当課・係	高森町教育委員会 学校教育係	
主な活動場所	南小学校など	
	エアコンの設置(有(無))	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	毎週月～金曜日 下校～16:30(冬季16時)
	土日	なし
	長期休業	夏休み22日間、春休み10日間
帰宅方法	徒歩等	
負担金	平日無料、夏休み3,000円、 春休み2,000円	
登録者数	103人(一日平均50人参加)	



【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	協働活動支援員	8
協働活動サポーター	特別支援サポーター	
ボランティア		

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	○	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	—		学習支援	—
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	—
	プログラム型	—		他団体、組織	—

活動内容

○支援員の先生による宿題の見守りや、読み聞かせなどを行っている。
○夏休みなどの長期休業などは、町図書館が開催している「お楽しみ教室」への参加や、年度によっては天竜川への自然観察などを実施している。

○現在、旧給食センターを改築し、学童クラブの新しい施設を整備中である。今後は、いっそうの活性化が見込まれる。

気づいたことや成果

○異学年との交流が進んでいる。授業とは違う雰囲気の中で、子どもたちの社会性が育まれている。

課題や反省点

・子どもたちには、様々な悩み事を抱えている場合もあり、学校からもその情報を出しにくい。そのため、支援の先生にとっても悩んでしまうことがあるが、学校からも出せる範囲の情報を頂くような交換会を開催して頂き、日頃から情報共有を図っている。
・ただし、このような制度はあまり深くやりすぎると、家庭の自助力を奪ってしまうこともあり、その見極めが難しい。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

◇いつもとは違う友だちと知り合うことができる。時には遊びだけでなく、高学年のお兄さんやお姉さんに宿題を教えてもらうこともある。

〈保護者の声〉

◇遅くまで見て頂くことで、特に仕事をしながら子育てを行っている場合には、大変助かっている。

(阿智村立浪合小学校)「浪合子ども教室」

事業実施状況



担当課・係	阿智村教育委員会	
主な活動場所	浪合グラウンドや浪合公民館など	
	エアコンの設置(有(無))	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	毎週木曜日 放課後午後4～6時
	土日	不定期
	長期休業	
帰宅方法	保護者の迎え	
負担金	なし	
登録者数	26人(一日平均11人参加)	

【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	4
協働活動サポーター	2	特別支援サポーター	
ボランティア	2		

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	○	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援			学習支援	
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	○
	プログラム型	○		他団体、組織	○

活動内容

○浪合小学校グラウンド・体育館や浪合グラウンド・浪合公民館を利用し、地域住民を指導者に迎え、学習・スポーツ活動を行い、心身の向上を図っている。

○英会話教室

○スポーツ活動(サッカー、ソフトテニス)

気づいたことや成果

○学年にあった活動ができるよう工夫しながら行っている。

○活動を通じルールや社会性を身につけることができている。

課題や反省点

・指導者等の確保。

・教室数の減少。

・地元のことを学べる活動を取り入れる。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

◇みんなと楽しくスポーツができ、きずなが深まる。

◇課題を見つけながら向上できる。

〈保護者の声〉

◇共働きであるのでこういう活動はありがたく、継続していただきたい。

◇子供たちが楽しみにしている。

根羽村立根羽小学校

事業実施状況

担当課・係	根羽村教育委員会学校教育係	
主な活動場所	根羽村保育所	
	エアコンの設置(有(無))	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	下校～午後6時
	土日	実施なし
	長期休業	夏休み12日間、春休み10日間
帰宅方法	保護者によるお迎え	
負担金	なし	
登録者数	20人(一日平均7人参加)	



【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	1
協働活動サポーター	1	特別支援サポーター	0
ボランティア	0		

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	-	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	-		学習支援	○
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	-
	プログラム型	○		他団体、組織	-

活動内容

- 英語教室(週1回)、お茶教室(隔週)、宿題、ボール遊び等
- 英語教室:ALTの先生による遊びを交えた英語の授業
- お茶教室:茶道の先生による茶道の所作の授業

気づいたことや成果

- その年によって利用者の利用状況が大きく変わる。H29年度は前年度比で約5倍の利用日数になった。
- ALTを活用するため、ALTによる英語教室を平成30年度から始めた。授業とは違い英語遊びなので、日常会話としての英語が身につく。

課題や反省点

- ・長期休業の際、放課後子ども教室の実施時間が午後1時半までなので、日中両親が仕事をしている場合に午後6時まで預かってほしいとの声があるが、スタッフの確保が難しい。
- ・平日のお迎えが午後6時を過ぎてしまいがちな保護者がいる。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

- ◇みんなと遊べて楽しい
- ◇近くに田んぼがあるので、虫を捕まえたりするのが楽しい

〈保護者の声〉

- ◇夏休み期間中に多くの体験プログラムを実施してくれてありがたい
- ◇共働きなので預かってくれて助かる

(売木村立売木小中学校)「うるぎふれあい教室」

事業実施状況

担当課・係	売木村教育委員会	
主な活動場所	売木村文化交流センター図書室	
	エアコンの設置(有(無))	
対象児童	小学校1年～中学生	
実施日等	平日	毎日 放課後午後3時30～5時30分
	土日	なし
	長期休業	夏休み14日間、春休み10日間
帰宅方法	保護者の迎え	
負担金	保険800円	
登録者数	17人(一日平均4人参加)	



【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	1
協働活動サポーター	1	特別支援サポーター	
ボランティア			

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	—	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	—		学習支援	—
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	○
	プログラム型	—		他団体、組織	○

活動内容

- 放課後支援(宿題・読書・自由遊び等)
- 長期休業(夏休み・年末年始・春休み)・振替休日等支援
- 文化継承 * 郷土食の継承
 - ・ほうば餅・五平餅
- 体験活動
 - ・水生生物調査(行政と共催) * 11年目
 - ・ウォーキング・相撲教室等
- 異世代交流
 - ・社会協議福祉会と連携。生きがい活動の中に組み込み、文化伝承と交流を。

気づいたことや成果

- 大きな声であいさつができるようになった。
- 文化継承など毎年参加している児童は、手際よくできるようになった。

課題や反省点

- 文化継承や体験活動の参加者が増えるとうい。
- 固定化している。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

- ◇友達と遊べる。
- ◇自分で作ったほうば餅はおいしかった。また作りたい。

〈保護者の声〉

- ◇参加することで、ゲーム・テレビで過ごすことが減った。

(天龍村立天龍小学校)「天龍村放課後子ども教室」

事業実施状況

担当課・係	天龍村教育委員会 教育係	
主な活動場所	天龍小学校	
	エアコンの設置(有・無)	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	※振替休日のみ 8時半～16時半
	土日	なし
	長期休業	夏休み14日間、春休み3日間
帰宅方法	徒歩	
負担金	なし	
登録者数	19人(一日平均15人参加)	



【スタッフ(人数)】 《読み聞かせ教室》

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	1
協働活動サポーター	1	特別支援サポーター	
ボランティア			

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ		学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	○		学習支援	○
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	○
	プログラム型	○		他団体、組織	○

活動内容

- 基本的には長期休業の土日祝日を除く平日に活動を行っています。
- 午前中は自主学习、午後は体験学習やレクリエーションを行って過ごしています。
- 今年度の体験学習は「PPバンドによる籠作り」や「絵手紙教室」、「読み聞かせ教室」を開催しました。各教室、村内の方に講師になっていただき、児童⇄講師それぞれの良い刺激になっていました。

気づいたことや成果

○講師の方が児童に教えるだけでなく、講師の方も、普段接点のない村内の子ども達との関わりができ、とても満足した様子であった。

課題や反省点

- ・支援者を募集したが、なかなか応募していただける方がいなかった。しかし、最初は不安だった支援者も、実際に活動をしていくと大変勉強になったと満足してもらえた。実際に体験を通して、本教室に支援していただける方の輪を広げていきたい。
- ・連絡不行き届き等、調整が上手くいかなかったことがあったため、徹底したい。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

- ◇籠作りは難しかったけど、だんだん慣れてくるとスムーズにできるようになった。初めての体験ができてよかった。
- ◇夏休みでも友達と遊べてよかった。

〈保護者の声〉

- ◇平日は家に大人が不在になるため、子どもの居場所があり、ありがたい。
- ◇こうした教室があるため、長期休業だからといって、なまけることなく日々の生活が送れていて、長期休業空けにも子どもはスムーズに対応できていた。

泰阜村立泰阜小学校

事業実施状況



担当課・係	泰阜村教育委員会 教育振興係	
主な活動場所	泰阜小学校や総合体育館など	
	エアコンの設置(有 (無))	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	毎週水曜日 放課後午後3～5時 月に1回午後7～8時30分
	土日	なし
	長期休業	
帰宅方法	一般児童と同じ	
負担金	なし	
登録者数	79人(一日平均15人参加)	

【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	12
協働活動サポーター		特別支援サポーター	
ボランティア			

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	○	学習活動の特徴	自主学習	—
	学校支援	—		学習支援	—
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	○
	プログラム型	○		他団体、組織	—

活動内容

○外遊び(陸上、ドッチボール、相撲など)

・毎週水曜日に、小学校グラウンドを中心に支援員が見守る中、運動中心に行われる。支援員は元体育指導員、元教員がマラソン、短中距離の指導(飯伊記録会や小学生駅伝参加)相撲指導(わんぱく相撲参加)。大会という目標を作ることで、子どもたちは真剣に取り組んでいる。

○室内遊び(太鼓、読み聞かせ、図工、読書など)

- ・支援員による読み聞かせ、紙飛行機づくり、折り紙、工作を楽しんでいる。
- ・太鼓クラブ代表の方が指導(音楽発表会では曲を披露する)

○親子スポーツ(軽スポーツを親子で楽しむ:囲碁ボール、縄跳び、キンボール、ティーボールなど)

・月に1回、体育指導員のもと、親子でいろいろな運動にチャレンジしている。1年間の計画は体育指導員と話し合い、低学年から高学年まで「体を動かすことは楽しい」を目標に活動している。

気づいたことや成果

- ただの預かりではなく、陸上大会に参加する、わんぱく相撲に出場する、太鼓を発表するという目標をつくと、子どもは真剣に取り組む。
- 大人も大会に出場することで、子どもの指導方法を勉強する。

課題や反省点

- ・運動の苦手な子どもは、大会出場というと嫌がって外に出てこなくなる。運動する子、しない子に差がでる。
- ・親子スポーツは親のいない家庭の子は出にくい。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

- ◇みんなで走ると陸上は楽しい。市町村対抗駅伝にいつかは村の代表として出てみたい。
- ◇わんぱく相撲に出場しても負けてばかりだけど、御嶽海のように強くなりたい。

〈保護者の声〉

- ◇子どもが相撲を頑張っていてうれしい。支援員の方が簡単な土俵をつくり、指導も熱が入っている。ありがたい。
- ◇運動の嫌いなうちの子が親子スポーツは行くという。スポーツ推進委員さんがたくさんいて、子どもをすごくほめてくれる。

(喬木村立喬木第二小学校)「たかぎ第二子ども教室」

事業実施状況

担当課・係	喬木村教育委員会 子ども教育係	
主な活動場所	喬木村立喬木第二小学校	
	エアコンの設置(有・無)	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	月～金曜日 放課後～午後4:30
	土日	—
	長期休業	—
帰宅方法	一般児童と同じ	
負担金	保険料 1人800円	
登録者数	34人(一日平均25人参加)	



【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	
協働活動サポーター	3	特別支援サポーター	
ボランティア			

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	○	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	○		学習支援	—
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	—
	プログラム型	—		他団体、組織	○

活動内容

- 月～金曜日 宿題
自由遊び:読書、自由工作
室内遊び(一輪車・バドミントンなど)
屋外遊び(サッカー・ドッジボールなど)
- 1回/年 体験活動:木工教室(My箸づくり、ネームプレートづくり)
- 1回/2～3ヶ月 遊びの広場:季節の工作、クイズ、クリスマス会、軽スポーツ
- 他事業との連携:子ども教室のコーディネーターが学校運営協議会の委員である。
協働活動サポーターの一人が学校支援員を兼務している。
- その他連携 :木工教室では、飯伊森林組合の方を講師に招いた。
遊びの広場では、たかぎスポーツクラブに講師を依頼することがある。

気づいたことや成果

- 1～6年生までの子ども達と一緒に遊ぶため、全学年が顔見知りで縦のつながりができた。
- 平日は毎日活動しているので、子ども達が自主的に取り組むことができるようになった。

課題や反省点

- ・活動のマナー化。
- ・活動内容の充実、協力団体への呼びかけ。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

- ◇放課後に学校で遊んでから帰ることができるので楽しい。
- ◇みんなで宿題ができるから、すぐに宿題を終わらせることができる。

〈保護者の声〉

- ◇友達の家まで距離があるので、放課後にそのまま遊ばせてもらえて楽しんでいる。
- ◇友達と宿題をする時間ができて、自主的に宿題をする習慣が身についたように思う。